

防火訓練と組合わせた焼いも大会

公園名：仲よし広場	面積：3,800㎡	実施主体：自治会・緑化推進本部・子ども会
所在地：埼玉県狭山市		参加主体：団地住民
実施開始年：S 61～	実施時期：11月	参加構成人員：250人

防火訓練に人が集まらないので困っていた自治会が、焼いも大会をあわせて実施することで子供達をはじめ多くの人達に参加してもらうことを狙っています。

＜実施概要＞

① 場所

●防火訓練はハシコ車を使った避難訓練を公園近くの住棟 5階建てで、石油ストーブや油に伴う火災の防火訓練と焼いも大会は公園で実施します。

② 内容と方法

●ハシコ車かまてう 音からの出火を想定した避難訓練や石油ストーブか受れて出火するケースや油に引火してしまったケースを想定した消火訓練を実施します。

●消火訓練後、子供達が集めた落葉、あらかじめ用意してあった落葉と焼材を燃やして、灰かてきたところをみはかかって子供達がアルミ箱にくるんだサツマイモをたき火に入れます。焼きあかたら取り出し、子供達や参加者に配ります。

●最後に残った灰は捨てずに日曜菜園をやっている人に配ります。

③ 実施体制

●自治会に団地の緑を管理している緑化推進本部や子ども会が協力して行事を実施します。

●防火訓練については地元の消防署に協力を依頼し、内容についてはあらかじめ相談しておきます。

④ 備品・設備

●焼いも大会については落葉（団地内の清掃で出る落葉をゴミ袋でストック、それ以外に子供達に対して各自小さなビニール袋に落葉を集めてくるよう呼びかける）、剪定枝等（緑化推進本部が剪定してストックしてあったもの、その他焼材を用意）、サツマイモ（約200個）、アルミ箱（サツマイモを包む）、その他消

火用の水の入ったバケツ、軍手などを用意します。

5. 費用

●サツマイモは地元商店街からの寄付であったためアルミ箱の費用のみ、サツマイモを買ったとすれば全費用は約8,000円程度です。

実施上のポイント

●火を使う行事なので延焼の心配のない広場でやることや消火体制を整えておくことが必要です。強風時は無理して実施しないことです。

焼いも大会を準備する間に消火訓練

